

## 第 2 回杉並区外環道青梅街道インターチェンジ問題調査会議議事録

1 . 日 時：平成 15 年 6 月 3 日（火） 午後 6 時～午後 8 時

2 . 会 場：区西棟 6 階 第 5・6 会議室

3 . 出席者：諸岡会長、内田委員、丸田委員、竹内委員

4 . 会議録

### 【事務局】

本会議は公開であり、傍聴者の承認願います。

（各委員承諾）

### 【諸岡会長】

第 2 回外環道青梅街道インターチェンジ問題調査会を開会します。

（会長挨拶）

### 【諸岡会長】

第 1 回の会議録の確認についてどうでしょうか。

（各委員承諾）

（事務局資料説明）

### 【内田委員】

インターチェンジの有無によって青梅街道の交通量はどのように変化するのか。

### 【事務局】

国の推計した資料では、外環がない場合、青梅街道交通量は 1 日あたり 5 万台、大型車混入率 16.4%、混雑率 1.33、インターチェンジが設置された場合の利用交通量は 1 日当たり 1 万 8 千台と推計されている。

青梅街道がどれだけ増加するかの資料はない。

### 【諸岡会長】

区のアナケートにおいてあげられた想定される効果について 4 点伺う。

外環が大深度地下で整備された場合の環 8 の交通量の減少はどうか。

青梅街道インターチェンジがある場合とない場合の大型車の交通量はどうか。

環 8 の交通量が、大きく減少するのは外環の整備効果であり、青梅街道インターチェンジ設置による効果であるとはストレートにはいえないのではないかと。

外環を早く安く整備するために国はどう考えているのか、また、区のアナケートにおいて

そのことを情報提供していたのか。

**【事務局】**

について、国の資料では外環道なしで、環 8 交通量は、6 万 1 千台 / 日 大型車は 1 万 6 千台 / 日。外環道が整備されインターチェンジがない場合、環 8 交通量は、5 万台 / 日 大型車は 9 千台 / 日。外環道が整備されインターチェンジがある場合、環 8 交通量は、4 万 4 千台 / 日 大型車は 8 千台 / 日と推計され、インターチェンジがない場合でも約 2 割の交通量が減少し、大型車についてはインターチェンジの有無にかかわらず削減効果は同程度であると説明している。

環 8 の交通量が減るのは外環が整備された場合の効果である。青梅街道インターチェンジがあることによる効果であるとはストレートには言えない。

有識者委員会の提言の中では、「インターチェンジなし、地下案」を検討の基本とし進めるべきと述べられている。国は有識者委員会の提言を踏まえ進めるべきと考えているのではないかと思う。ただ、3 月の方針では、「地元の意向を踏まえ検討する」となっている。

区民アンケートの中では、「インターチェンジ無し、地下案」を検討の基本にという有識者委員会の提言を十分情報提供できていなかったと反省している。

**【諸岡会長】**

生活道路の安全性について、4 点伺う。

環 8 の交通量が減ることで生活道路に入り込んでいる通過交通が減り安全性が向上すると説明している根拠は。

環 8 の抜け道の交通量が減ることは外環を整備したときの効果であり、青梅街道インターチェンジが設置された効果と言えないのではないか。

青梅街道インターチェンジが設置された場合、善福寺など周辺地域では生活道路の交通量が増大し安全性が低下するのではないか。

区内の一部地域で安全性が向上しても、地元地域で安全性の低下が予想される事態を区ではどのように考えているのか。

**【事務局】**

外環を設置することで環 8 の交通量は減り生活道路に入りこんでいた通過交通が減る。アンケートにおいても、インターチェンジを設置することで環 8 交通量が更に減るため、項目としてあげた。ただし、環 8 の抜け道の交通量が減る効果は、青梅街道インターチェンジを設置した効果であるとした国の資料はない。

青梅街道インターチェンジが設置された場合、幹線道路への交通集中があると国は予想している。その影響により周辺の生活道路への交通量の増大が予想されるが、その資料については現在示されていない。

区内の一部地域の安全性が向上しても地元地域で安全性が低下する恐れがあるということは好ましくないと考える。

**【諸岡会長】**

利便性の向上について 4 点伺う。

その根拠を示してほしい。

利便性の恩恵は、区内全域で受けることができるのか。

高速道路へのアクセス時間短縮の資料で、青梅インターチェンジのみの場合における資料はあるのか。

利便性の恩恵を受ける善福寺などのインターチェンジ周辺地域で、インターチェンジ設置の反対が多いということはどう受け取るのか。

**【事務局】**

国の資料によると、インターチェンジがある場合周辺地域で高速道路へのアクセス時間が15分ほど短縮し、武蔵野市や西東京市の一部が新たに20分圏域となる。

インターチェンジがある場合とない場合を比較し、必ずしも区全体で利便性が向上しているかどうかは、わからない。

青梅街道インターチェンジだけの場合の資料は、発表されていない。

利便性の恩恵を受ける外環道路周辺地域で6～8割の方が反対であり、利便性の方を重視してはいいのではないかと考えている。

**【内田委員】**

アンケートのQ2には、インターチェンジと外環道の効果が混ざっているようだ。これは、外環道の一般的な効果であると思う。

外環道は、地上部を行わないため安くできると理解していた。3月の方針では地元の意向を踏まえながら目白通りから青梅街道までを整備するとなっているが、本当に考えられるものなのか。膨大な費用がかかってしまう。

**【事務局】**

外環整備にかかる費用について改めて国に確認したところ、今まで公表してきた1兆6千億円とは、他の路線のトンネル工事建設費を参考に概略計算を行ったものである。今後の計画内容と施工方法により大きく変化するものと考えているとのことであり、現時点では試算はしていないとのこと。

**【諸岡委員】**

国においては、大深度地下による、東名、中央のインターチェンジを設置しないのが原則であろう。地元意向の結果に基づき費用が出てくるのではないのか。

**【事務局】**

区は常に、国及び都の公式見解を説明している。区としてはコメントできない。

**【内田委員】**

青梅街道交通量のインターチェンジ設置前と設置後の数値はないのか。

交通量の増加がわからないで地元住民を説得することは難しいのではないのか。

**【事務局】**

交通量については大雑把な総論的なものしか出てきていない。きちんとした資料がないことには適確な判断ができないと国、都に要望していきたい。

有識者委員会での提言では、インターチェンジ無しとしているが、3月の方針では具体的に青梅街道インターチェンジに踏み込んでおり、区としてもその変化に対応しなければならないと認識している。

**【竹内委員】**

費用対効果は、インターチェンジの有無により微々たるものであるが変わってくるだろう。

便益の算定方法で、交通事故減少便益について青梅街道インターチェンジが設置された場合とない場合で区においてどれだけ差が出るのかについて計算があるか。

【事務局】

交通事故減少便益について、具体的にどのように出していくのか現在のところ区ではできない。

【竹内委員】

実数の話として、国がどのくらいを予想しているかがわかるようなものはないのか。

【事務局】

経済便益 3 千億円の数値については、平成 12 年に公表されたもので、平成 6 年度の道路交通センサスがベースになっている。平成 32 年の将来ネットワークとして現況道路にすべての都市計画道路が完成したと仮定して交通量の推計をし、その結果をもとに経済効果を試算したとのことである。現在、最新のデータをもとに将来交通量を試算しており、現時点では改めて試算しなおすためこの資料しか出せないとのことである。

【丸田委員】

環境についてもあまりデータがなく意思決定をすることはかなり無理なことである。本来であればきちんとしたアセスメントをやらなければならない。できる限り根拠を示すのが必要である。

インターチェンジがある場合、ない場合など箇条書きで結論をくらべられればいいのか。

【諸岡会長】

国、都はデータをあまり出したがらないのではないのか。

【事務局】

あるものを出さないことではないと思う。出すためには複雑で膨大な資料を基に計算を行うなどの作業があるため出し切れていないという印象を受けている。

国と都は、事業責任者として地元自治体及び地元住民を納得させる資料・理論構成を出すべきである。

3 月の方針では、「設置要望のあった青梅街道インターチェンジについては」とあり練馬区と杉並区と一緒に要望したと誤解されてしまうやり方である。青梅街道における地元とは、練馬と杉並であり一方だけではない。さらに地元とは地元自治体および影響を受ける住民も含まれると杉並区としては考えている。

【丸田委員】

資料に数値が出ているのなら必ずその過程の式があるのでそれも合わせて出してもらいたい。

【事務局】

PI 協議会においても青梅街道インターチェンジについて論議するのであればそこに絞ったデータを出すように繰り返し要望しているが一般的なものばかりが出てきている。

東京都は、環境アセスメントは行うとしている。計画が決定すれば条例に基づき環境アセスメントを行うのでその際には詳しいデータを出すといっている。

【諸岡会長】

国が有識者会議でインターチェンジは造らず安く早くやるとしている。都はインターチェンジの設置は地元要望によるとしているが、杉並は意思表示していない。練馬区のみが地元要望として決定されると問題が出てくるであろう。意思決定のためにもきちんとしたデータを出すよう強く要望してほしい。

【内田委員】

費用対効果と環 8 の交通量の資料で前提条件が違い、利便性などはどのような前提で行ったのか。

【事務局】

国及び都から出された資料それぞれで考え方がある。全体を整合したときに統一性が取れているのかとの疑問をもっている。

【内田委員】

都市計画審議会、議会において、どのような扱いの予定になっているのか。

【事務局】

都市計画審議会では、青梅街道インターチェンジ問題について区への対応を 6 月 5 日の都市計画審議会にて報告していく。将来的には、都から都市計画変更にあつたての意見照会があり、その際、区への都市計画審議会に諮問していくと考えている。時期についてはわからない。

区議会については、16 日から定例会があり、所管の特別委員会がありその中でこれまでの経緯について報告し、区議会の意向も踏まえて区の方針を策定していきたいと考えている。

【内田委員】

今の時点でも積極的に都市計画審議会に問題を出し、区としての意見をアピールした方がいいのではないかと感じます。

【丸田委員】

この地区は文教施設の集中地区で、子供への影響抜きには考えられず、そのような要望・意見はないのか。

【事務局】

昨日、善福寺保育園父母会の会長などが中心になり青梅街道インターチェンジ反対の署名を約 3,300 人集められ、山田区長にお持ちになられた。

周辺の方から要望があれば、把握している情報の範囲内で説明を行うとし、桃井第四小学校で 6 月 14 日に「聴く会」と同じ説明を行う予定になっている。

【竹内委員】

既に開通している外環道のインターで、どんな「悪いところ」「いいところ」があつたのか聞き取り調査のような資料はないのか。

その周辺の交通量の変化や、事故の件数の増減など過去の経験の資料があつたほうがいいのか。

【事務局】

埼玉区間の予測と実測値の資料から、予測した交通量を上回る交通量になっていると伺える。

それ以外の資料についてはないので早急に国に問い合わせをし取り寄せたい。

【竹内委員】

インターに近い主要道路、周辺住宅地の中でのデータがほしい。

ある程度外環の効果は地価に反映するので、周辺の地価はどのようになっているのか。外環道がどれだけ魅力的に感じるかの指標にはなると思われる。

【事務局】

早速、国へ連絡を取り取り寄せたい、また、PI 外環協議会の資料も丹念に調べたい。

【諸岡会長】

PI 外環協議会では同じような質問は出ていないのか。

【事務局】

PI 外環協議会の基本的な資料は出しているが、協議員が出された資料もあるため改めて調べ早急に取り寄せたい。

【内田委員】

手元にある会長あての要望書の中島さんは PI 協議会委員であるのか。

【事務局】

今日傍聴にいられている方で、予め調査会議の会長にお渡ししたいということで開会前に会長にお渡しし、各委員に写しをお配りした。

【竹内委員】

地震の際に、インターチェンジがあることで緊急時の物資の輸送などについてプラスになるのかマイナスであるのか。

【事務局】

区の内部でも議論をしたが、災害対策の面でどう評価ができるかどうかいろいろ意見が出ていて、区としての見解を早急にまとめたいと考えている。

【丸田委員】

PI は日本では試行段階である。どこまでがパブリック(地元)の範囲であるかわからない、パブリックをはっきりさせなければ誤解を招くことになる。中学校の学区域くらいを単位にするのがよい。

【事務局】

外環問題についての PI 協議会の関連は、2 年前に「たたき台」を出し、それを契機に外環反対連盟など話し合いの席についた。このような状況の中で準備会を設置し、PI 方式による原点に戻って話し合う PI 外環協議会が立ち上がったのが現状です。

【諸岡会長】

PI 外環協議会は継続されていくのですか

**【事務局】**

ちょうど一年経ち、6月中に中間のまとめを出し、それを基にまた協議を続ける。今のところ8月までの日程は決まっているがその後は決まっていない。2～3ヶ月では収まらないだろうと思われる。

**【諸岡会長】**

まとめとして、これまでの経過を踏まえ、本日に出された意見を中心として現時点で論点を整理し報告書の「たたき台」を作成したいと思います。

「たたき台」の作成については、賛同が得られれば会長に任せて頂きたいかがでしょうか。

(各委員承諾)

**【事務局】**

今回は、6月11日(水)午後6時から8時までの予定。

会場は、本日と同じ会場を予定しています。

議題については、「たたき台」についての議論、新たな資料についての議論

**【諸岡会長】**

長時間に渡りありがとうございました。

(閉会)